

意見書案第3号

令和4年6月23日

木古内町議会  
議長 又地 信也 様

提出者 木古内町議会議員 吉田 裕幸  
賛成者 木古内町議会議員 竹田 努  
賛成者 木古内町議会議員 平野 武志

森林・林業・木材産業によるグリーン成長に向けた施策の充実・強化を  
求める意見書（案）

上記の意見書案を会議規則第14条第1項及び第2項の規定により、別紙の  
とおり提出する。

## 森林・林業・木材産業によるグリーン成長に向けた施策の充実・強化を 求める意見書（案）

本道の森林は全国の森林面積のおよそ4分の1を占め、国土保全、地球温暖化防止、林産物の供給等の多面的機能の発揮が期待されており、これらの機能を十分に発揮させるためには、森林資源の循環利用を進める必要がある。全国一の森林資源を有する北海道において本町と道が連携し2050年までに温室効果ガスの排出量を実質ゼロとする国の目標の達成に向けて、伐採後の着実な植林による森林の若返りや長期間炭素を固定する木材利用の促進、化石、燃料の代替となる木質バイオマスのエネルギー利用の促進など、森林吸収源対策を積極的に推進することが必要である。

本町をはじめ、道内各地域では、森林の公益的機能の維持増進と森林資源の循環利用の実現に向け、森林整備事業や治山事業など国の事業を活用し、植林・間伐や路網の整備、山地災害の防止、木造公共施設の整備、林業事業体の育成など、様々な取組を進めてきたところである。

本道の森林を将来の世代に引き継いでいくため、活力ある森林づくりや防災、減災対策をさらに進め、森林・林業・木材産業によるグリーン成長が実現できるよう、施策の充実・強化を図ることが必要である。

よって、国においては、次の措置を講ずるよう強く要望する。

### 記

1.森林の多面的機能を持続的に発揮し、ゼロカーボン北海道の実現に貢献するため、適切な間伐と伐採後の着実な植林の推進に必要な森林整備事業予算や、防災・減災対策の推進に必要な治山事業予算を十分に確保すること。

2.森林資源の循環利用を一層推進するため、ICT等の活用によるスマート林業の推進、木材生産・流通体制の強化、建築物の木造・木質化、木質バイオマスのエネルギー利用の促進などによる道産木材の需要拡大、森林づくりを担う人材の育成・確保などに必要な支援を充実・強化すること。

以上、地方自治法第99条の規定に基づき、意見書を提出する。

2022年6月23日

北海道上磯郡木古内町議会  
議長 又 地 信 也

【提出先】 衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、財務大臣、総務大臣  
文部科学大臣、農林水産大臣、経済産業大臣、国土交通大臣  
環境大臣、復興大臣